学校番号	３０９

令和３年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新図説家庭基礎（実教出版）						
副教材等	生活学 Navi 資料＋成分表 2021　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1.人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子ども、高齢者、そして社会との関わりについて理解します。
2.自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につけます。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 調理チェックシート 等	学習状況の観察 プリントの記述 調理チェックシート 定期考査の結果 等	学習状況の観察 プリントの記述 等	学習状況の観察 プリントの記述 調理チェックシート 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1編1章　人とかかわって生きる	1編　人とかかわって生きる 1章　自分らしい生き方と家族 1.人生 80 年を見通す 2.今の自分を見つめる 3.青年期の生き方について考える 4.労働について考える 5.共に働くことを考える 6.家族って何だろう 7.家族に関する法律の理念と背景 8.家族にかかわる法律 9.現代の家族をとりまくことがら	○	○	○	○	a:男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。 b:図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 c:家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、自らの考えをまとめることができる。 d:家族に関する法律についての知識を身につけている。	授業観察 プリント 定期考査
	1編2章　子どもとかかわる	1編　人とかかわって生きる 2章　子どもとかかわる 1.子どもを知る 2.青年期の健康と生命の芽ばえ 3.からだの発達 4.心の発達 5.子どもの生活習慣・健康管理・安全 6.子どもの食生活・衣生活 7.子どもと遊び 8.親になることを考えよう 9.すこやかに育つ環境 10.子どもの権利と福祉	○	○		○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント 定期考査
夏休み		ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 自由テーマ	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	プリント 自己評価

2学期	2編1章 食生活をつくる	2編　生活をつくる 1章　食生活をつくる 1.私たちの食生活と健康 2.食を楽しむ 3.食品の栄養素とからだの成分 4.炭水化物 5.脂質とその食品 6.たんぱく質とその食品 7.ミネラル 8.ビタミン 9.その他の食品 10.食品の選択と表示 11.食品の衛生 12.食料自給率と食品の安全性 13.食生活と環境とのかかわり 14.必要な栄養素量　－食事摂取基準－ 15.献立作成 16.調理の基本 （□囲みの部分は、年間を通じて実施する）	○	○	○	○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント 自己評価 定期考査
3学期	3編1章 消費行動を考える	3編　消費者として自立する 1章　消費行動を考える 1.主体的な消費行動と契約 2.多様化する販売方法と問題商法 3.適切な契約のための制度・法律 4.多様化する支払い方法 5.消費者の権利と責任 6.循環型社会をいかに構築するか 7.地球温暖化にどう向き合うか	○	○	○	○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。	授業観察 プリント 定期考査
	3編2章 経済的に自立する	3編　消費者として自立する 2章　経済的に自立する 1.経済のなかの家計 2.日々の収入・支出を把握する 3.長期的な経済計画を立てる	○	○	○	○	a:近い将来の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。 b:現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 c:経済的自立へむけて、短期・長期の経済計画に関わる実習を通して、人生設計を組み立てることができる。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。